

第1回建設部会（ハイブリット開催）

場 所：秋田商工会議所 7階ホール 80

出席者：会場 20名 オンライン 13名

懇 談：県・市の建設に係る重点施策について

テーマ①「令和4年度 秋田県の建設行政の話題」

ゲスト 秋田県建設部 次長 川辺 透 氏

テーマ②「令和4年度 秋田市の建設に係る重点施策について」

ゲスト 秋田市建設部 次長 大志賀 雅孝 氏

協 議：2022年度 部会活動計画（案）について

テーマ①「令和4年度 秋田県の建設行政の話題」

ゲスト 秋田県建設部 次長 川辺 透 氏

- 令和4年度公共事業（建設部）予算は、令和3年度補正と合わせ約789億円であり、底値である平成24年度の約1.7倍まで回復した。
- 建設人材確保・育成に取り組むため、令和4年4月1日に「秋田県建設産業活性化センター」を建設政策課内に設置、若手技術者や女性技術者等の確保・育成に向けたマッチング支援、建設産業全体のイメージアップ、県内企業の経営基盤強化支援等を推進していく。
- カーボンニュートラルへの挑戦として、秋田港および能代港では、それぞれの港湾計画に基づき、洋上風力発電の設置及び維持管理拠点の形成に向け、ふ頭用地の整備等の推進やエネルギー供給拠点基地の形成を支援等をしていく。
- 令和3年度の入札不調率は5.3%で、入札参加資格の地域要件拡大等の取組により、入札不調は低位で推移しており、引き続き業界団体との情報交換を密にし、円滑な施工確保に向けた対策を講じていく。

テーマ②「令和4年度 秋田市の建設に係る重点施策について」

ゲスト 秋田市建設部次長 大志賀 雅孝 氏

- 最重要課題である人口減少対策に取り組むとともに、第14次秋田市総合計画「県都『あきた』創生プラン」に掲げた施策・事業を着実に推進するため、選択と集中による経営資源を最適配分した。
- 建設部関係予算は、63.7億円で、昨年度より2億円程減少となっているが国から今年度の交付金の内示を受けており、6月補正に向けて予算要求を行っている。予算が付けば昨年度の予算大きく超える見込みとなっている。
- 観光振興の推進として、市民の憩いの場である千秋公園の魅力を高めるために、大手門の堀遊歩道整備や鐘楼更新整備・市民交流ゾーン園路整備を行う。
- 建設業界では週休二日の取得が進んでおらず、若者労働者の担い手確保・育成を進めるうえで課題となっているため、令和2年度に引き続き、市発注の建設工事において「週休二日制モデル工事」を試行する。

以上